

高さ調整装置台 【 TDW 】

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げくださいます
ありがとうございます。
この説明書は、この製品の使い方（使用上の注意事項）
組立てについて記載しています。組立て・ご使用前に、
この説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
また、この製品を末長くご使用いただくために、
この説明書は大切に保存してください。
尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけて
おりますが、ご不明な点がございましたら、
下記のお客様相談室までご連絡ください。



S サカエ

大阪市城東区成育5丁目22—9

フリーダイヤル
お客様相談室 0120—575101

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、
次の事項を必ず守って下さい。

△安全上のご注意

1. 製品の均等分耐荷重（全体に均等に物を置いた場合）は、
均等耐荷重 350kg
上天板 均等耐荷重 150kg
下天板 均等耐荷重 200kg
2. 積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
3. 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
4. 使用中にネジやパーツのゆるみなどガタツキが生じたときは組み立て方にしがたって、締め直して下さい。緩んだままで使用していると、変形や破損及び転倒の原因になります。
5. 製品の分解・改造や部品を外したり、外したままで使用しないで下さい。収納物がはみ出したり高く積み上げた状態でご使用にならないでください。落下等の事故の原因となります。
6. 可動部の隙間に指を入れますと、指を挟む恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
7. 転倒防止のため、重い物は下段に入れて置いて下さい。また、上段のみに荷重をかけた状態での使用はしないで下さい。
8. 使用に際しては本体を必ず水平に保って作業して下さい。
9. 凹凸の激しい通路での使用は絶対しないで下さい。変形や破損、及び転倒事故の原因となります。
10. この製品を踏台代りに使用しないで下さい。転倒や事故の原因になります。
11. 乱暴な取り扱いや用途以外の使用は避けて下さい。
12. 製品にもたれたりぶら下がったり、また乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
13. 傾斜地では使用しないで下さい。本体が転倒する恐れがあり、人や物に当たりけがや破損の原因となります。
14. 天板の継ぎ目や裏側、隙間に指を入れないで下さい。切断面や取付ビスの先端などで、けがをする恐れがあります。
15. この製品を移動する時は、載せてある物を全ておろし、天板を持ち複数でゆっくり持ち上げて行って下さい。乱雑に扱うと破損や事故の原因となります。
16. アジャスター付製品を引きずって移動しないで下さい。床を傷つけたり、アジャスター破損の原因となります。

17. 本体と床面等にガタツキがあるときは、アジャスターで水平に調整して下さい。
18. 本来の目的、用途以外での使用はしないでください。
19. この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

◆使用上のご注意

1. この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障やさびの原因となりますので使用しないで下さい。
2. 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。
3. 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
4. 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷やサビの原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
5. 子供の手に触れる場所に置かず、子供を近づけないで下さい。製品に触れて転倒やけがのおそれがあります。
6. キャスター、アジャスター等は床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
7. 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
8. 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

1. 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
2. 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

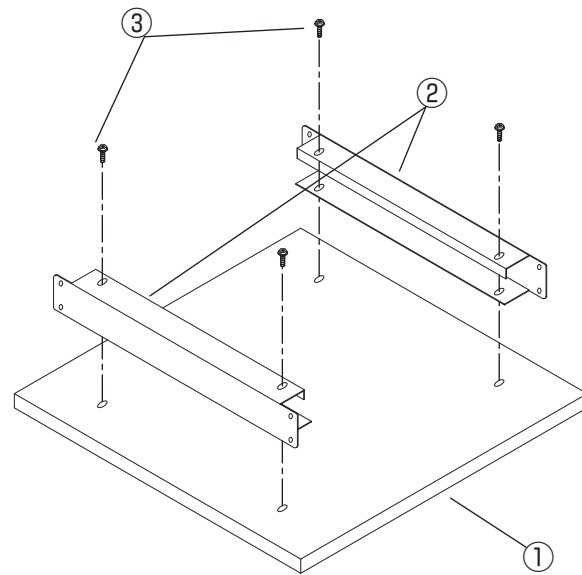
※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返し行って下さい。

※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。

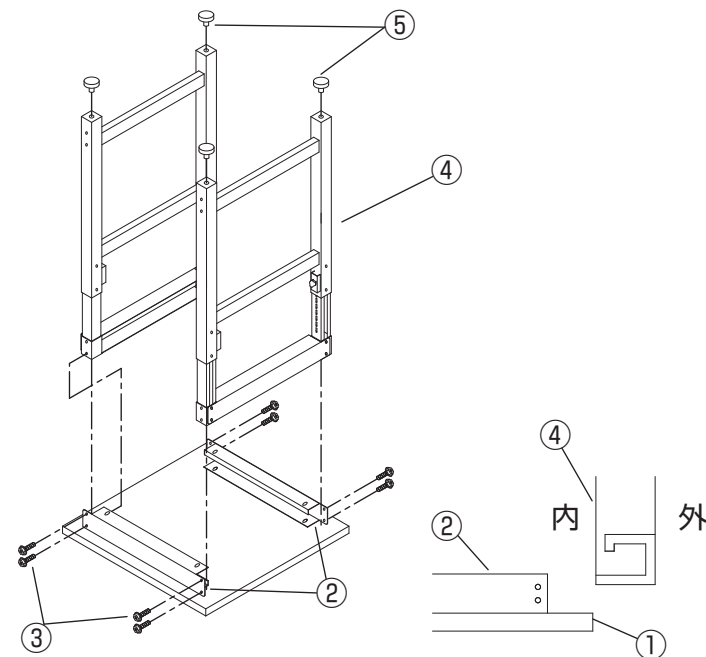
《組立て方法》

※組み立てが終わった後、装置台を起こして、再度ガタ付きの無い様ネジ部をしっかりと締め付けた上、水平レベルを出して下さい。

- ① 裏返した上天板①の上に天受ビーム②を前後に置き、十字穴付六角ボルト③で仮止めして下さい。
※700：4ヶ所 W1500：6ヶ所 ボルト締め

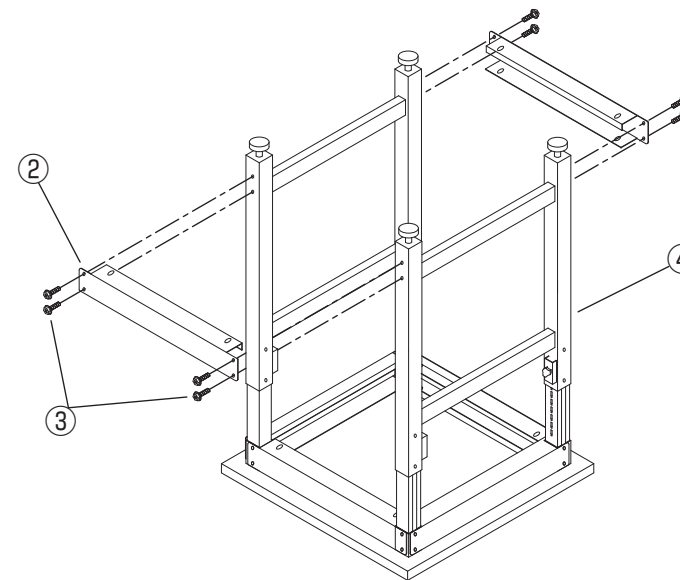


- ② 脚フレーム④を逆さにしアジャスター⑤をねじ込みます。下図のように天受フレーム②の両端に差し込み、外側より十字穴付六角ボルト③で仮止めして下さい。



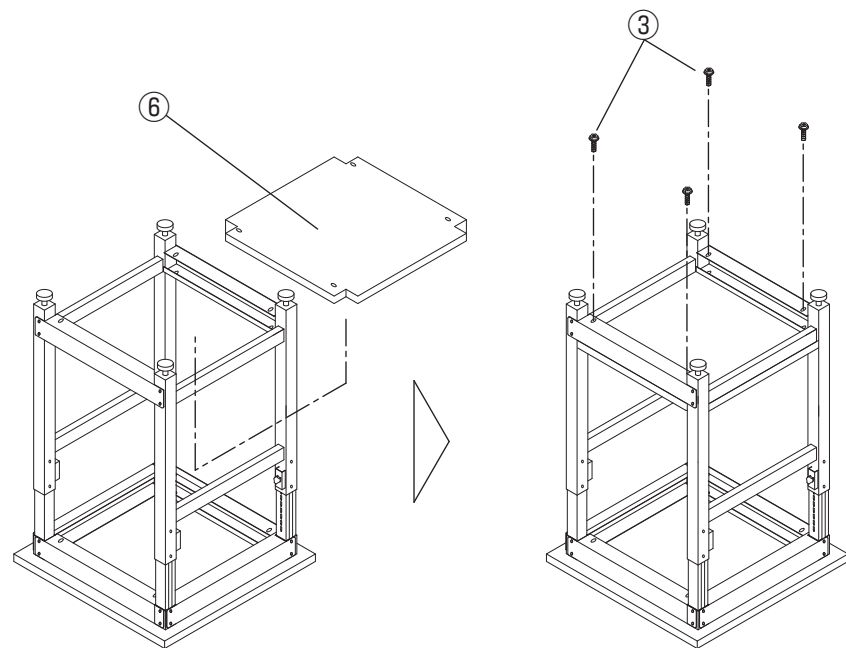
※脚フレームの向きに注意して下さい

- ③ 先に組付けた天受フレーム②と同じ方向になるように脚フレーム④に残り2つの天受フレーム②を十字穴付六角ボルト③で組付けます。
※強く締めすぎると内側のナットが破損するおそれがあります。十分以上の力を加えて組付けしないで下さい。

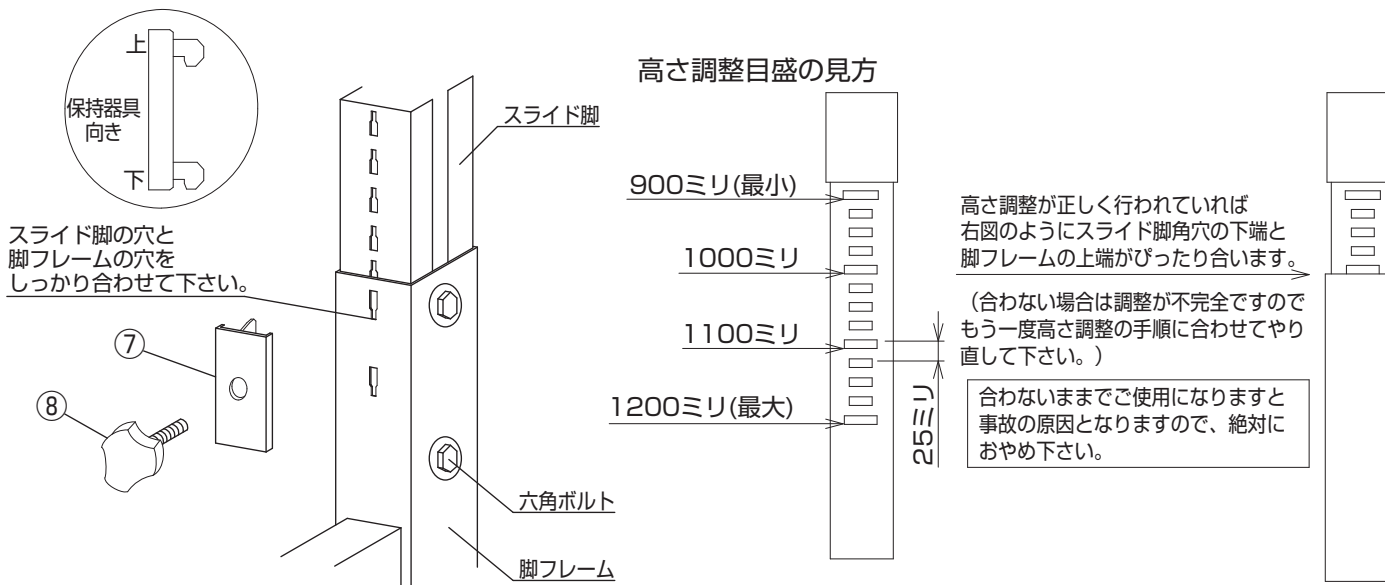


- ④ 下天板⑥を入れ、十字穴付六角ボルト③で仮止めして下さい。
※天板が重い為、複数人で作業してください。
※W700：4ヶ所 W1500：6ヶ所 ボルト締め
全ての仮止めしたボルトを本締めして装置台を起こし、右の《高さ調整方法》に従い、スライド固定金具⑦、ノブボルト⑧を取付けて装置台の高さを調整して下さい。

⚠ 注意 六角ボルトをゆるめるとスライド脚が動くので手をはさまない様に注意して下さい

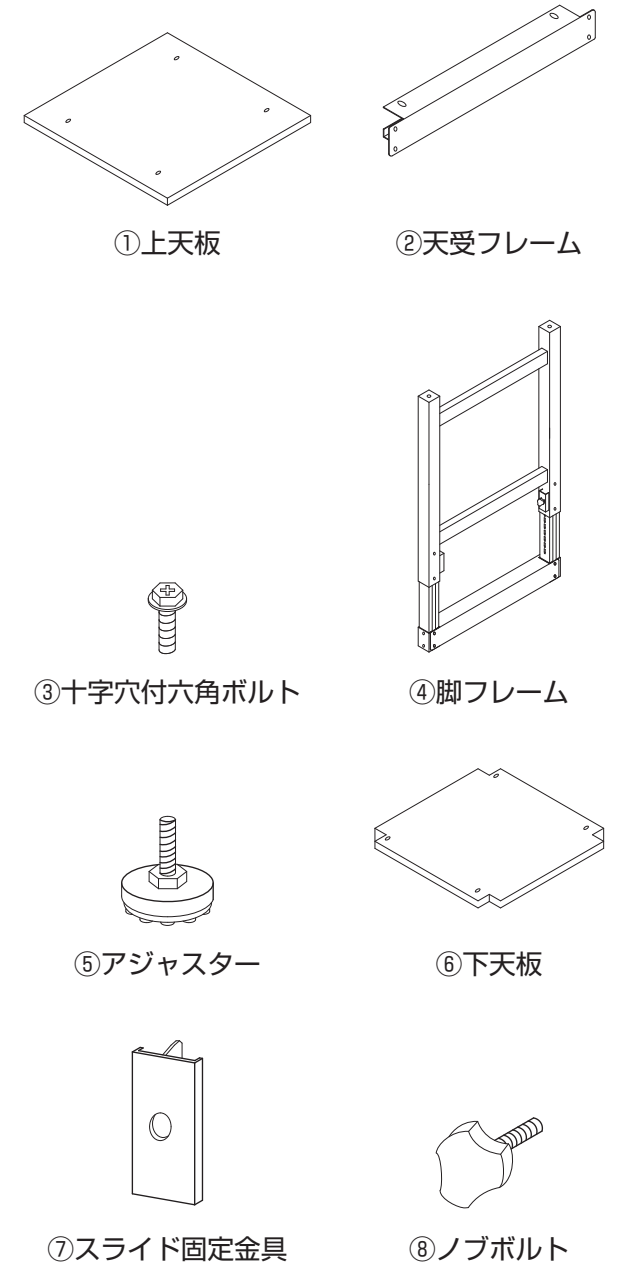


《高さ調整方法》



- 手順1 脚フレームとスライド脚を固定している六角ボルト（2本×4ヶ所）及びスライド固定金具⑦（4ヶ所）のノブボルト⑧を軽くゆるめます。（ボルトは絶対に外さないで下さい。故障の原因となります。）
手順2 スライド脚が動くようになりますので、均等に少しだけ上天板①を持ち上げスライド固定金具⑦を外して下さい。
手順3 上天板①を調整したい高さに変え、スライド固定金具⑦を入れて高さを変更して下さい。（スライド固定金具⑦の向きに注意して下さい。逆に入れるとノブボルト⑧を締めても完全に固定できません。）
手順4 手順1によってゆるめた六角ボルト及びノブボルト⑧をしっかりと締め付けて下さい。

部 品 明 細



番号	部 品 名	間口 700	間口 1500
①	上天板	1	1
②	天受フレーム	4	4
③	十字穴付六角ボルト(P-3) M8×18L	28	32
④	脚フレーム	2	2
⑤	アジャスター	4	4
⑥	下天板	1	1
⑦	スライド固定金具	4	4
⑧	ノブボルト	4	4